

各 位

会 社 名 株式会社 幸 楽 苑
代表者の役職名 取締役社長 新井田 傳
(東証第一部 コード番号 7 5 5 4)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役
社 長 室 長 室 井 一 訓
T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
<http://www.kourakuen.co.jp/>

(訂正) 「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」 の一部訂正に関するお知らせ

平成 19 年 7 月 17 日付で公表いたしました「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」につきまして、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせ申し上げます。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】

(5 ページ)

【定性的情報・財務諸表等】

4. その他

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

(訂正前)

従来、有形固定資産の減価償却方法は、定率法（ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備は除く。）は定額法）を採用しておりましたが、当第 1 四半期より、工場（製造・物流部門）に係る有形固定資産については、定額法を採用することに變更いたしました。

この変更は、新工場の稼動を契機に製造原価等の見直しを行った結果、工場に係る有形固定資産は将来に亘り長期的に使用され、設備投資の効果が安定的に発現するものと考えられることから、より合理的な費用配分に基づく適正な期間損益計算を行うために行ったものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上原価は 3,415 千円減少し、販売費及び一般管理費は 8,822 千円減少し、営業利益は 12,237 千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 17,937 千円増加しております。

(訂正後)

従来、有形固定資産の減価償却方法は、定率法（ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備は除く。）は定額法）を採用しておりましたが、当第 1 四半期より、工場（製造・物流部門）に係る有形固定資産については、定額法を採用することに變更いたしました。

この変更は、中期経営計画基本方針の見直しを契機に、安定的出店方針の下、製造原価等の見直しを行った結果、工場に係る有形固定資産は将来に亘り長期的に使用され、設備投資の効果が安定的に発現するものと考えられることから、より合理的な費用配分に基づく適正な期間損益計算を行うために行ったものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上原価は 3,415 千円減少し、販売費及び一般管理費は 8,822 千円減少し、営業利益は 12,237 千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 17,937 千円増加しております。

以 上